

理学療法士が病院、在宅、スポーツと様々な分野で患者と向き合う姿が描かれている。東京都理学療法士協会の50周年の記念プロモーション動画だが、都民だけでなく、多くの国民に理学療法士への理解をすすめることを目的として制作された。

記録
ビデオ
カラー／3分・1分34秒

■企画
(公社) 東京都理学療法士協会

スタッフ

■製作
村山憲太郎
栗原龍一
■脚本・演出・撮影・
照明・選曲
今福 薫



理学療法は、運動療法や物理療法を行い、失われた体の基本的な機能を取り戻す治療法の一つ。チーム医療の中で基本的な体の回復を促し、けがや病気の予防や自立した生活を支える支援を行う理学療法士。

一人ひとりの違いを理解すること。変化を恐れないこと、変化の先を見せること。正しい知識を得ること。学び続けること、まわりの支えを大切にすること、人の支えになること。目標を持つこと、目標に目を向けること。笑いを忘れないこと。喜びを共有すること。自分を信じること、自分を信じること、……。

「私にできることがここにある。」理学療法を通して、患者と向き合い、患者を支える理学療法士の姿と声が響きあう。